

福島町議会議員の評価

期間：平成17年3月～12月

評価の分類： = 「ほぼ満足」 = 「努力が必要」 = 「さらに努力が必要」

| | | | |
|---------------------------|------|---------|----|
| 所属委員会等 | 在職年数 | 氏名 | 年齢 |
| 経済福祉常任委員会委員 議会運営委員会委員長 | 6 | 平 沼 昌 平 | 50 |

| 評価項目 | 具体的な項目 | 評価 |
|-------------|--|----|
| 1．行政分野の取り組み | ・ ADSL回線の普及について提言と実施に向けての活動 | |
| | ・ 自助、共助、公助を基本とした考え方を提言 | |
| | ・ 町有施設の現状確認と整備・補修の体制及び今後の活用施策の提案 | |
| | ・ 町内の不法投棄の現状から見た結果を踏まえ、執行者に対して今後の対応について問う | |
| 2．財政分野の取り組み | ・ 吉岡温泉の利用者減の対策と施設の有効利用について提言 | |
| | ・ 国民健康保険税に関して、多重受診の軽減策と診療費抑制のため町内医歯会との連携体制の強化を提言 | |
| | ・ 保育料・住宅使用料滞納繰越分について過去のデータに基づき今後の対応を提言 | |
| | ・ 庁舎内LANを導入して需要費などの節減が図られたか、ペーパーレス化を含めてその費用対効果について検証 | |
| 3．経済分野の取り組み | ・ 当町の農林水産物の付加価値の向上と今後の品質管理体制（トイビリティ）についての提案 | |
| | ・ 町営住宅建設事業における若者の定住化のための取り組みと住宅建設に対する費用対効果及び定住促進の施策について | |
| | ・ 養殖昆布事業の将来性と担い手対策について提案 | |
| | ・ 観光事業に関する施設の有効利用と今後の施策検討を提言 | |
| 4．福祉分野の取り組み | ・ 町道松浦峠道路災害復旧工事について、同路線の必要性と生活路線としての必要性を北海道に対して働きかけるよう提言 | |
| | ・ 地域福祉計画において、在宅サービスの増加、施設入所の動向と要因、また健康づくり推進の施策について提言 | |
| 5．教育分野の取り組み | ・ 老朽化している学校給食センターの今後の対応と子供たちに対する食の教育について提言 | |
| | ・ 財政健全化と教育力向上のため学校統廃合の提案と考え方、また校区内地域との協議体制の確立を提言 | |
| 6．その他の取り組み | ・ 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書について、議員の同意を得た | |
| | ・ 議会・議員の評価制度の創設・推進 | |
| | ・ 町内会活動の推進 | |
| | ・ 各種ボランティア活動の推進 | |